あなたが金銭を貸し付けた相手とその連帯保証人の両方に対し請求するときに書き入れてください。一人に対し請求するときは空欄のままです。

支払督促申立書

貸　　金　　請求事件

当事者の表示　　別紙当事者目録記載のとおり

請求の趣旨及び原因　　別紙請求の趣旨及び原因記載のとおり

債務者らは，　連帯して　債権者に対し，請求の趣旨記載の金額を支払え，との支払督促を求める。（□手形訴訟による審理及び判決を求める。）

あなたが請求する金額に応じて算出されます。

申立手続費用　　金　○，○○○　円

債務者に対し手続に要した費用を請求するため（請求の趣旨に記載します）その内訳を記載してください（不明な場合は窓口でお尋ねください）

（内訳）

申立手数料（印紙）	○，○○○円
支払督促正本送達費用（切手）	○，○○○円
申立書作成及び提出費用	８００円
資格証明手数料	○○○円

債務者に郵送する費用で１名につき通常１２０４円ですが，重さにより増額します。

あなた又は債務者（相手方）が法人の場合に登記事項証明書等の交付を受けるためにかかった費用です。

令和○○年○○月○○日

申立人（債権者）

申立書作成の日

甲　野　太　郎　　印

この欄は裁判所の窓口でお尋ねください。

松江簡易裁判所　裁判所書記官　　殿

価　　額	円
印　　紙	円
郵便切手	円

添付書類　資格証明書　○通

（印紙貼付欄）

受付印		
貼用印紙	円	係　印
添付郵券	円	

債務者の住所地を管轄する裁判所です。

あなたの住所，氏名，電話番号やファクシミリがある場合にその番号を書いてください。
債権者が会社であるときは，登記事項証明書等を見て，会社の所在地，会社名，代表者の氏名，電話，ファクシミリ番号を書いてください。

当　事　者　目　録

住　所　〒　○○○－○○○○

松江市○○町○丁目○番○号

債権者　甲　野　太　郎

□　代表者

ＴＥＬ○○○○－○○○－○○○○

ＦＡＸ△△△△－△△△－△△△△

あなたに対して裁判所から書類を送る場合にどこに宛てて送って欲しいか希望する場所（送達場所）にチェックし，勤務先等を希望する場合はその所在地と名称を書いてください。

（送達場所）　□　上記の住所

□　下記の住所｛勤務先・営業所・その他（　　）

住　所　〒　　－

ＴＥＬ　　－　　－

ＦＡＸ　　－　　－

住　所　〒　○○○－○○○○

松江市○○町○丁目○番○号

債務者　乙　山　二　郎

□　代表者

ＴＥＬ　○○○○－○○○－○○○○

債務者の住所，氏名，電話番号及びファクシミリがある場合はその番号を書いてください。
会社（法人）である場合は登記事項証明書等をみて法人の所在地，会社名，代表者の氏名を記入してください。

住　所　〒　○○○－○○○○

松江市○○町○丁目○番○号

債務者　丙　田　三　郎

□　代表者

ＴＥＬ○○○○－○○○－○○○○

あなたが債務者に求める内容のことです。

債務者に請求する金額を書いてください。

請求の趣旨及び原因

遅延損害金の支払を返済日の翌日から求める場合は上の□をチェックし，その日付を書いて下さい。債務者がこの支払督促を受け取った日の翌日から求める場合は下の□をチェックしてください。

請 求 の 趣 旨

1　金３０７，４５９円（下記請求の原因２の残額）

2　［□上記金額
　　■上記金額の内金３００，０００円］に対する

［■平成・令和２年７月１日　　から
　□本支払督促正本送達の日の翌日］

完済まで年１５パーセントの割合による遅延損害金

1ページ目に記載した額

3　金○，○○○円（申立手続費用）

貸付時に遅延損害金の支払を約束したときは，「あり」の□をチェックし，その利率を書いてください。遅延損害金を定めなかったときは「なし」にチェックしてください。

利息の支払を約束したときは「定めあり」の□をチェックし，その利率を（　）内に書いてください。利率を決めていないときは「定めなし」の□をチェックしてください。

貸し付けた相手

金銭を貸し付けた日

請 求 の 原 因

1　契 約 の 内 容

(1)　［■債務者
　　□申立外　乙山二郎］に対する貸金契約

(2)　契　約　の　日　　平成・令和　２年　４月　１日

(3)　利　　息　　■定めあり（利率　年１０％）　□定めなし

(4)　遅 延 損 害 金　　■定めあり（利率　年１５％）　□定めなし

(5)　弁　　済　　期　　［■定めあり（平成・令和　２年　６月３０日）
　　□定めなし　［□返済の催告をした日
　　平成・令和　　年　　月　　日］］

(6)　連 帯 保 証 人　　■あり　［□債務者＿＿＿＿＿
　　■申立外　丙田三郎］
　　□なし

2

貸 付 金 額	利息損害金の合計額	支払済の額	残　　額
３００，０００円	７，４５９円 （R2・6・30 まで）	０円 （最後に支払った日 ・　・）	３０７，４５９円 （内訳） 残元金 ３００，０００円 利息・損害金 ７，４５９円

3

□最終支払期限（平成・令和　　年　　月　　日）の経過

元本や利息の返済期を定めたときは「定めあり」の□をチェックし，その年月日を書いてください。元本の返済日とは別に利息の返済日を定めたときには例えば「ただし利息は毎月末日払い」等と利息の返済期を付記してください。返済期を決めなかったときは「定めなし」の□をチェックしてください。